

News Release

Next GIGA時代の教育データ活用を可能にする 学校教育向けソリューションtomoLinksの販売開始 ～国内初、あらゆる教材に対応する教育データ分析AIサービスを提供～

2023年5月1日

コニカミノルタ株式会社
コニカミノルタジャパン株式会社

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：大幸 利充、以下 コニカミノルタ）とコニカミノルタジャパン株式会社（本社：東京都港区、社長：一條 啓介、以下 コニカミノルタジャパン）は、学校教育向けソリューション tomoLinks[®]（トモリンクス）の正式販売を全国の教育機関や教育事業者に向けて開始したことを発表しました。まず「学習支援」サービスの販売を開始し、「先生×AI アシスト」と「授業診断」サービスは、プレビューリリースとして本日より先行販売を開始します。なお、「先生×AI アシスト」と「授業診断」サービスは、今夏から一般提供開始を予定しています。コニカミノルタは、これらのサービスを4年間にわたって実証実験を繰り返しながら開発し、導入校におけるICT利活用の推進に成功しています。特に「先生×AI アシスト」は、国内で初めて*1紙教材を含むあらゆる教材に対応可能な教育データ分析AIサービスとなります。コニカミノルタは、2023年5月10日より東京ビッグサイトにて開催される教育総合展（EDIX）に出展し、tomoLinksの全サービスを展示します。



教育の場においては、2019年に文部科学省がGIGAスクール構想を提唱し「Society 5.0 という時代を生きる子ども達にとって、PC 端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテム」*2というメッセージを発信しました。この構想によって学校内のICT環境が飛躍的に充実しましたが、より簡単に安心して利用できる学習支援サービスの進化が今求められています。また、NEXT GIGA 時代を見据えた際には、教育データの利活用に注目が集まっており、Society5.0のコンセプトであるサイバー（仮想）空間とフィジカル（現実）空間の融合が教育の現場でいかに実現されていくか、具体的な提案が必要とされています。

これらの課題に応える新しいソリューションとして、tomoLinksは開発されました。tomoLinksは、児童生徒と学校、家庭の学習活動を繋げて支援する「学習支援」、児童生徒の多様な学習活動を分析して効果的な学習を提案する「先生×AI アシスト」、教室内の画像データから授業内容を分析して授業での学習効果の最大化を支援する「授業診断」の3つのサービスを提供します。

コニカミノルタおよびコニカミノルタジャパンは、tomoLinksを通じて、教員、児童生徒、保護者に寄り添い、教育の場の課題を解決しながら、日本の教育の新たな進化に貢献していきます。

【tomoLinks が提供する価値】

1. 教員、児童生徒、保護者に寄り添い日本の教育に変革をもたらすクラウド型学習支援サービス

tomoLinksは2019年から開発をはじめ、教育現場のフィードバックを製品に反映しながら開発を進めてきたクラウド型学習支援サービスで、以下の3つのサービスで構成されています。こ

これらのサービスを学校の教育プラットフォームとして導入することで、デジタル端末だけでなく教育データの効果的な活用が可能になり、子どもたち一人ひとりの力を最大限に引き出す個別教育の実現を推進します。

(1) 「学習支援」サービス

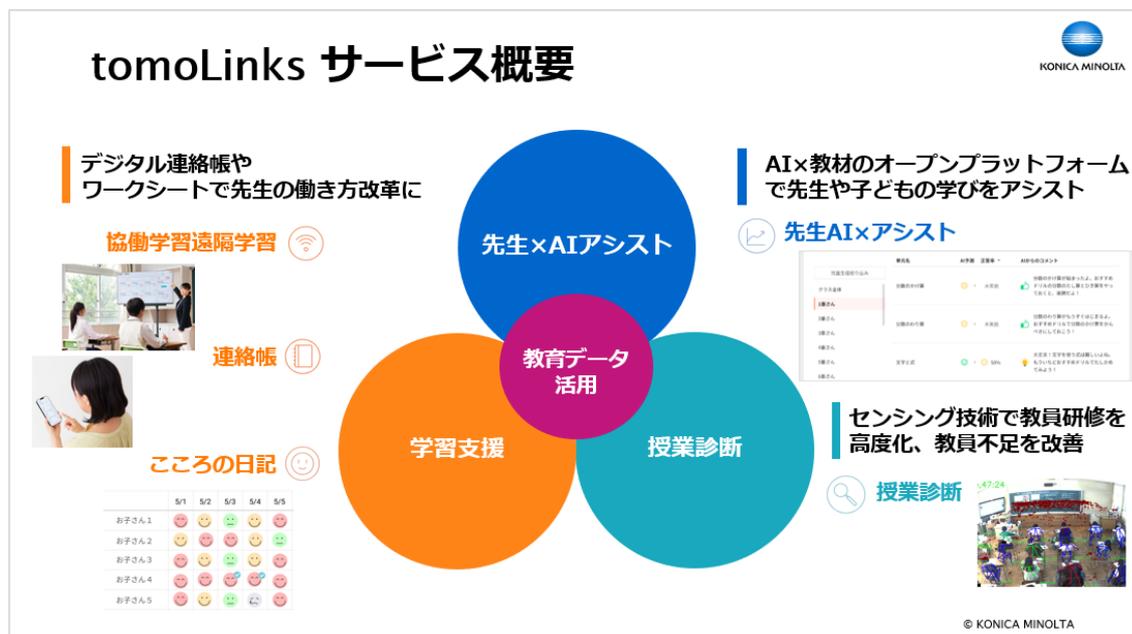
教員、児童生徒、保護者が直観的に操作できるわかりやすい UI（ユーザーインターフェース）で、ICT を使った双方向授業や遠隔授業、連絡帳などの学校と家庭の両方の学習活動をオールインワンで実現できます。

(2) 「先生×AI アシスト」サービス

子どもたちの教育データを元に一人ひとりの学力定着度合いを AI が分析し、それぞれの児童生徒に合った学びの学習方法を提案します。

(3) 「授業診断」サービス

授業の様子を AI 分析し、児童生徒の発言量や挙手、視線などをデータ化します。さらに教員や実習生の板書や机間指導などを分析し、児童生徒の学力と教員などの指導力の両方の成長を支援します。



2. 国内初、紙教材を含むあらゆる教材に対応可能な教育データ分析 AI

tomoLinks の「先生×AI アシスト」の分析 AI は、国内で初めて教材に依存せずに、学校が所持している既存の学力データや、新たにデジタルで提供される様々な企業の教材の学力データなどを分析することが可能です。先行導入している大阪府箕面市の小中学校では、児童生徒約 13,000 人の 10 年分の学力テストや、生活状況調査から把握できる環境データを元に、独自の分析 AI モデルを作成して教育データの活用を実践した結果、60%以上の児童生徒の学力が向上し、デジタル学習教材に取り組む児童生徒が 5.5 倍に増えました。従来、教材と分析 AI が紐づいて一体となって提供されていましたが、tomoLinks は教材選択の制限を開放し、児童生徒一人ひとりがそれぞれに取り組んできた学習内容に基づいて、個別に最適な学習内容を提示します。

現在、箕面市以外の複数の自治体への提供準備を開始しており、地域の子どもの実情に合わせた教育データ分析 AI の提供を進めていきます。さらに、「先生×AI アシスト」は教育事業者に対しても提供を開始します。事業者の教材と併せて利用することで、従来の教材の AI 化が可能

になります。教材としてNHK for Schoolの動画コンテンツをはじめ、以下の教育事業者と連携し、今後さらに教材を拡大していきます。

- 株式会社イーシア
- 株式会社教育同人社
- KENTEM（株式会社建設システム）
- 株式会社増進堂・受験研究社
- 東京書籍株式会社
- 株式会社日本コスモトピア
- 広島県教科用図書販売株式会社

3. 安心安全なコニカミノルタ独自の教育データ運用方針

tomoLinksは、文部科学省から示された学習ログデータの取扱い方針に、いち早く対応しました（**2022年11月22日発表**）。tomoLinksでは、システム開発を含む商業的な利用を目的とした個人データの利用を行わず、教育委員会や家庭からの個人データの削除や解約時のデータ破棄などの依頼に対応する、データの所有者である生徒児童や保護者にとって安心安全なデータ運用を実現しました。この運用は、文部科学省 CBT システム MEXCBT*³で行われる全国学力調査の教育データに対しても行うため、すべての児童生徒や保護者にデータ利用の同意を得る必要のある学力調査での利用にも適しています。

4. 最先端の教育を学び・体験できる展示会「EDIX 2023」に出展

コニカミノルタは2023年5月10日（水）～12日（金）に東京ビッグサイトで開催される「EDIX 2023」に出展します。「EDIX 2023」では、tomoLinksの3つのサービスの展示・デモを通じていち早く体験が可能です。

<イベントの詳細>

<https://www.edix-expo.jp/hub/ja-jp.html>

*1 2023年5月1日時点において。コニカミノルタ調べ。

*2 出所：文部科学省が発行している令和2年2月21日第6回特別部会資料1-1「GIGAスクール構想」。

*3 MEXCBTとは、文部科学省が開発・展開する公的CBT（Computer Based Testing）プラットフォームのこと。児童生徒が学校や家庭において、国や地方自治体等の公的機関等が作成した問題を活用し、オンライン上で学習やアセスメントができる。

* 記載されている商品名等は各社の登録商標あるいは商標です。

【関連リンク】

tomoLinks ホームページ：<https://tomolinks.konicaminolta.jp/>

【お客様のお問い合わせ先】

コニカミノルタジャパン株式会社

DXソリューション事業部 ICW事業統括部 教育DX事業開発部

<https://enq.konicaminolta.com/n/form/yjlb/E6vuHCkswC3aHpuHn2za2>

（お問い合わせフォームよりご連絡ください）

報道関係お問い合わせ先

コニカミノルタ株式会社 広報部

担当：森 裕晃 080-6831-8727 / 土井 文子 070-3669-8856

変更履歴

システム変更に伴い【お客様のお問い合わせ先】URLを変更いたしました。 [2023年5月24日]